（令和7年度）

決算特集号

けっさんとくしゅうごう

令和7年度決算についてお知らせします



広報ふえふき
Fuefuki

令和7年度 決算概要

令和7年度決算が、市議会第3回定例会で審議され、認定されました。ここでは、市民の皆さまに納めていただいた税金がどのように使われ、また、市の財政が今どのような状況にあるのかをお知らせします。

市の財政状況について

基金は35億2,188万5千円増、市債は177億1,997万9千円減

限られた財源の中、徹底した事務事業の見直しによる経費の削減や、国および県の補助金ならびに有利な交付税措置のある市債の活用など財源確保の努力を徹底したことで、市の財政状況は健全な状態にあります。

基金残高

基金（預貯金）については、ふるさと納税寄附金額の増加などに伴い、平成28年度決算では164億9,786万7千円だったものが、**35億2,188万5千円増額**させることができ、令和7年度決算では200億1,975万2千円となりました。基金残高を市民一人あたりに換算すると約30万3千円になります。

市債残高

市債（借入金）については、必要な公共施設およびインフラ整備を行うときに発行しますが、事業の優先度を見極め積極的に国や県の補助金などを活用し取り組んだことで、市債の発行抑制が図られ、平成28年度決算では690億195万9千円だったものが、**177億1,997万9千円減少**させることができ、令和7年度決算では512億8,198万円となりました。市債残高を市民一人あたりに換算すると約77万5千円となります。

一般会計 基金（預貯金）現在高の状況

基金名		平成28年度末	令和7年度末	増減額
財政調整基金		39億3,912万4千円	37億7,353万8千円	△1億6,558万6千円
減債基金		17億8,959万7千円	10億2,021万4千円	△7億6,938万3千円
特定目的基金	公共施設整備等基金	35億7,003万4千円	20億4,266万2千円	△15億2,737万2千円
	地域振興基金	48億8,395万1千円	50億9,572万2千円	2億1,177万1千円
	まちづくり基金	2億3,700万8千円	59億9,245万円	57億5,544万2千円
	その他	20億7,815万3千円	20億9,516万6千円	1,701万3千円
基金現在高		164億9,786万7千円	200億1,975万2千円	35億2,188万5千円

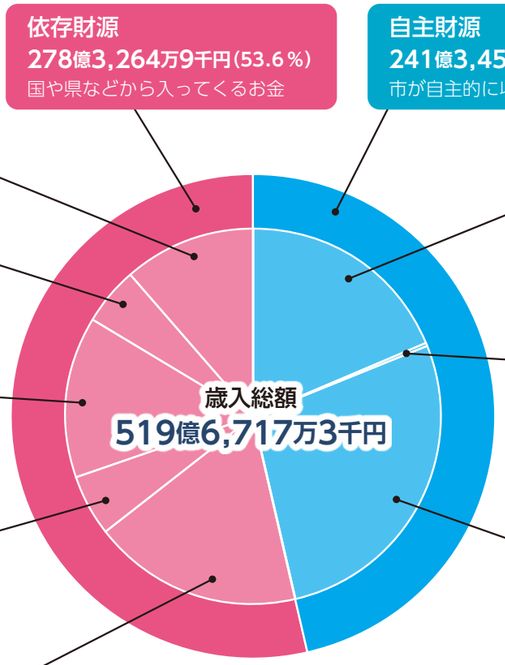
基金とは、家計で言うと預貯金のことです。財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するとともに、予期しない収入の減少や支出の増加に備えるための基金です。特定目的基金は、特定の目的に使途するため資金を積み立て、必要に応じて取り崩しを行う基金です。

市全体 市債（借入金）現在高の状況

会計名		平成28年度末	令和7年度末	増減額
一般会計		437億3,430万2千円	359億7,096万3千円	△77億6,333万9千円
	うち合併特例債	200億　994万6千円	132億3,567万4千円	△67億7,427万2千円
	うち臨時財政対策債	159億9,642万7千円	95億9,719万5千円	△63億9,923万2千円
公営企業会計		252億6,765万7千円	153億1,101万7千円	△99億5,664万円
	上水道	87億4,930万9千円	65億6,720万8千円	△21億8,210万1千円
	簡易水道	1,240万5千円	1,075万1千円	△165万4千円
	下水道	162億1,989万3千円	86億6,534万3千円	△75億5,455万円
	農業集落排水	2億8,605万円	6,771万5千円	△2億1,833万5千円
市債現在高合計		690億195万9千円	512億8,198万円	△177億1,997万9千円

市債には、公共施設およびインフラの整備に当たって、資金の借入をすることにより、後年度の償還を通じて、将来その施設等を利用する人にも、建設費用を公平に負担していただくという、世代間の負担の公平性を保つ役割があります。

一般会計 歳入の内容



依存財源
278億3,264万9千円（53.6％）
国や県などから入ってくるお金

自主財源
241億3,452万4千円（46.4％）
市が自主的に収入できるお金

市債
57億8,878万円（11.1％）
国や金融機関などからの借入金です。

県支出金
26億2,329万5千円（5.1％）
事業の経費の全部または一部を、県が負担・補助したものです。

国庫支出金
73億2,228万4千円（14.1％）
事業の経費の全部または一部を、国が負担・補助したものです。

交付金・譲与税等
27億3,274万2千円（5.3％）
市民の皆さまが国や県に納めた税金が市に交付・譲与されたものです。

地方交付税
93億6,554万8千円（18.0％）
地方財源の収入の不均衡を是正するため、国が、国税の一部を市に一般財源として交付するものです。

市税
97億467万3千円（18.6％）
市民の皆さまから市に納めていただいた税金です。

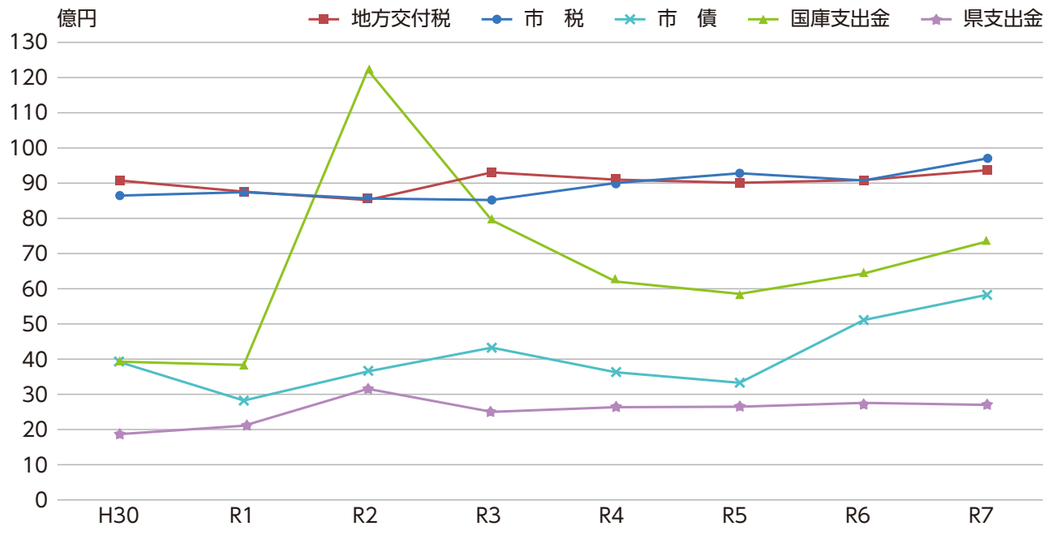
分担金および負担金
1億3,574万1千円（0.3％）
事業の経費の一部を、受益者に負担していただいたものです。

その他
142億9,411万円（27.5％）

使用料および手数料	1億9,684万8千円
財産収入	1億3,148万4千円
寄附金	45億1,541万8千円
繰入金	63億1,170万9千円
繰越金	28億618万8千円
諸収入	3億3,246万3千円

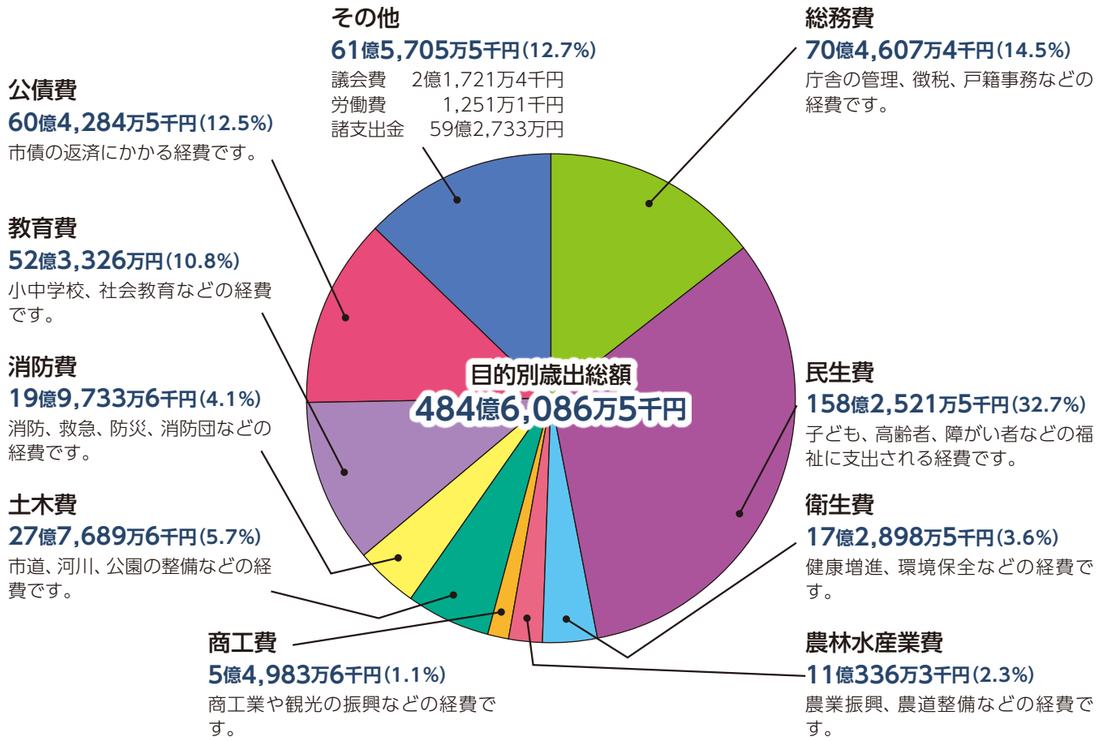
一般会計 主な歳入科目決算額の推移

自主財源の根幹である市税については、6億3,562万2千円増加しました。これは主に令和6年度に実施された定額減税が終了したことによるものです。依存財源については、令和6年10月から、児童手当の対象年齢拡充に伴い、児童手当国庫負担金が2億7,920万3千円増加したこと等により、国庫支出金が9億2,560万9千円の増加、いちのみやももの里温泉およびみさかの湯の市営温泉2か所の改修事業等により、市債の借入が7億2,791万2千円増加しました。



一般会計 歳出の内容（目的別）

歳出を目的別にみると、最も高額となったのは民生費158億2,521万5千円で、主な要因として、児童手当支給事業13億360万5千円、物価高対応子育て応援手当支給事業3億8,193万1千円、私立保育所等施設整備事業3億3,103万円、児童発達支援センター設置支援事業1億582万円などを実施したことにより、令和6年度より8億651万9千円増加しました。
歳出総額は、484億6,086万5千円となり、市民一人あたりに換算すると約73万3千円となります。



その他
61億5,705万5千円（12.7%）
議会費　2億1,721万4千円
労働費　1,251万1千円
諸支出金　59億2,733万円

総務費
70億4,607万4千円（14.5%）
庁舎の管理、徴税、戸籍事務などの経費です。

公債費
60億4,284万5千円（12.5%）
市債の返済にかかる経費です。

教育費
52億3,326万円（10.8%）
小中学校、社会教育などの経費です。

消防費
19億9,733万6千円（4.1%）
消防、救急、防災、消防団などの経費です。

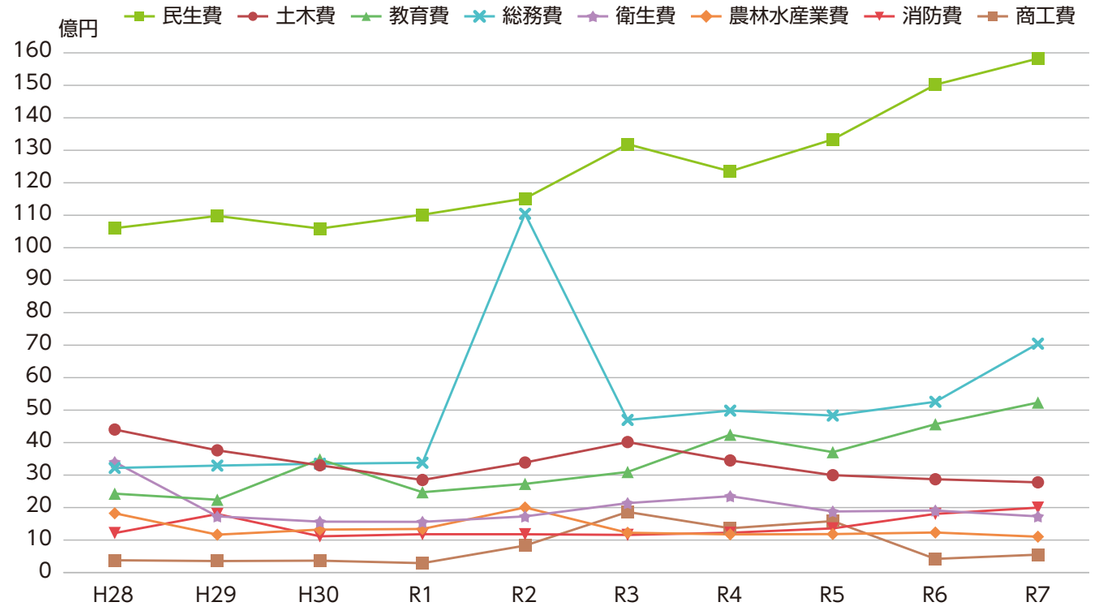
土木費
27億7,689万6千円（5.7%）
市道、河川、公園の整備などの経費です。

民生費
158億2,521万5千円（32.7%）
子ども、高齢者、障がい者などの福祉に支出される経費です。

衛生費
17億2,898万5千円（3.6%）
健康増進、環境保全などの経費です。

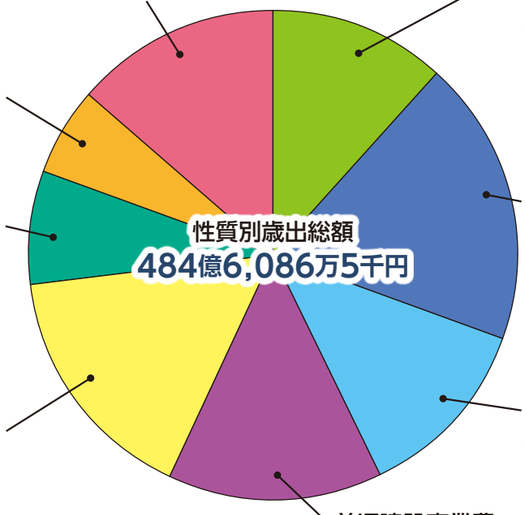
商工費
5億4,983万6千円（1.1%）
商工業や観光の振興などの経費です。

農林水産業費
11億336万3千円（2.3%）
農業振興、農道整備などの経費です。



一般会計 歳出の内容（性質別）

性質別歳出とは、経費の性質に着目して歳出を分類したもので、年度別の比較や他の自治体との比較、分析に用いられます。令和7年度は扶助費が90億6,174万6千円で、物価高対応子育て応援手当支給事業3億7,760万円を実施したほか、児童手当支給事業が13億358万5千円を実施したことにより、令和6年度より3億3,772万4千円増加しました。また、普通建設事業費が68億2,862万9千円で、いちのみやももの里温泉改築事業や御坂中学校校舎等改築事業などの実施により、令和6年度より19億4,865万2千円増加しました。



その他
65億1,773万4千円（13.4%）
維持補修費　1億5,939万円
積立金　59億2,714万5千円
出資金等　4億3,119万9千円

人件費
57億5,561万9千円（11.9%）
職員等の給与、諸手当等の経費です。

繰出金
28億5,884万4千円（5.9%）
一般会計から特別会計に繰り出す経費です。

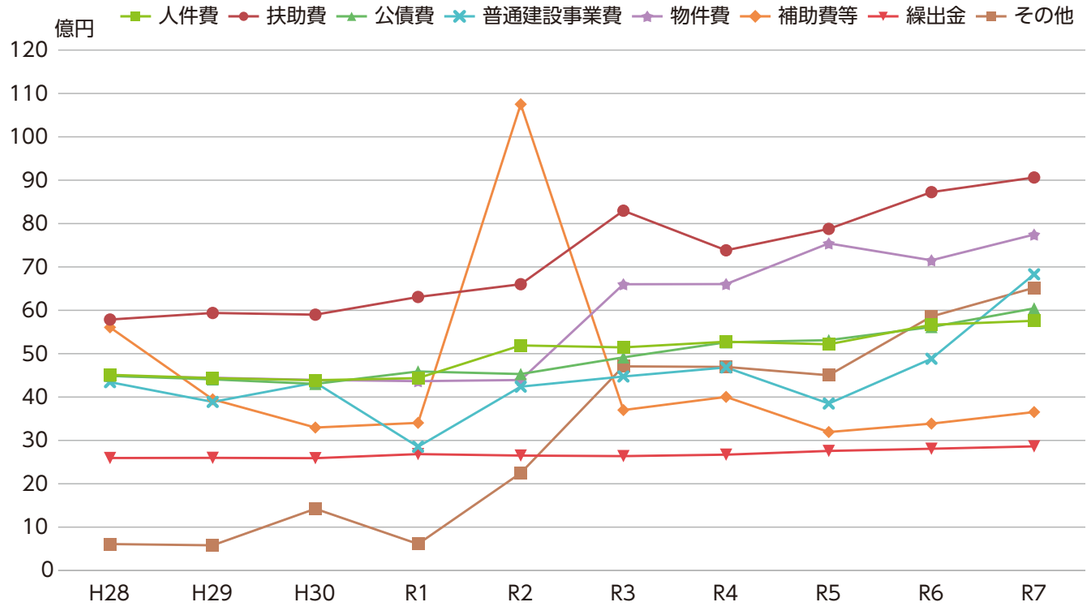
扶助費
90億6,174万6千円（18.7%）
社会福祉、高齢者福祉、児童福祉等の経費です。

補助費等
36億5,048万3千円（7.6%）
各種団体等への補助金や負担金の経費です。

公債費
60億4,284万5千円（12.4%）
市債の返済にかかる経費です。

物件費
77億4,496万5千円（16.0%）
消耗品費、光熱水費等の消費的な経費です。

普通建設事業費
68億2,862万9千円（14.1%）
公共施設、インフラの整備にかかる経費です。



令和7年度 公営企業会計の決算状況

令和7年度の公営企業会計の決算状況をお知らせします。

水道事業会計

収益的収入および支出			
収入		支出	
営業収益	13億267万9千円	営業費用	15億1,892万9千円
営業外収益	3億9,462万3千円	営業外費用	1億1,175万6千円
特別利益	388万1千円	特別損失	217万1千円
収入合計	17億118万3千円	支出合計	16億3,285万6千円

資本的収入および支出			
収入		支出	
企業債	3億1,100万円	建設改良費	4億6,813万4千円
出資金	5,853万8千円	企業債償還金	4億4,443万6千円
負担金	8,322万7千円		
収入合計	4億5,276万5千円	支出合計	9億1,257万円

春日居地区温泉給湯事業会計

収益的収入および支出			
収入		支出	
営業収益	6,475万8千円	営業費用	5,895万2千円
営業外収益	266万5千円	営業外費用	213万8千円
特別利益	2千円	特別損失	35万6千円
収入合計	6,742万5千円	支出合計	6,144万6千円

資本的収入および支出			
収入		支出	
収入なし		建設改良費	463万7千円
		支出合計	463万7千円

公共下水道事業会計

収益的収入および支出			
収入		支出	
営業収益	7億1,465万3千円	営業費用	17億4,167万6千円
営業外収益	12億8,281万4千円	営業外費用	1億4,897万9千円
特別利益	14万1千円	特別損失	154万4千円
収入合計	19億9,760万8千円	支出合計	18億9,219万9千円

資本的収入および支出			
収入		支出	
企業債	2億5,300万円	建設改良費	3億5,037万4千円
出資金	3億4,433万9千円	企業債償還金	10億1,906万2千円
負担金	4,330万6千円		
補助金	4,524万4千円		
収入合計	6億8,588万9千円	支出合計	13億6,943万6千円

簡易水道事業会計

収益的収入および支出			
収入		支出	
営業収益	333万7千円	営業費用	2,741万8千円
営業外収益	2,993万6千円	営業外費用	9万3千円
特別利益	35万9千円	特別損失	16万8千円
収入合計	3,363万2千円	支出合計	2,767万9千円

資本的収入および支出			
収入		支出	
出資金	118万8千円	企業債償還金	233万6千円
収入合計	118万8千円	支出合計	233万6千円

農業集落排水事業会計

収益的収入および支出			
収入		支出	
営業収益	823万5千円	営業費用	4,815万3千円
営業外収益	4,590万9千円	営業外費用	164万6千円
収入合計	5,414万4千円	支出合計	4,979万9千円

資本的収入および支出			
収入		支出	
出資金	2,713万3千円	企業債償還金	2,713万3千円
収入合計	2,713万3千円	支出合計	2,713万3千円

資本的収入が支出に不足する額は、補てん財源等で措置しました。
収益的収入および支出…各事業を運営していくための施設の維持管理や人件費等の会計
資本的収入および支出…資本を形成するための工事や大型備品等の更新のための会計

財政の健全度を判断する指標を公表します

財政健全化判断比率とは、財政健全化法により算定・公表が義務付けられている、市町村の財政が健全かどうかを判断する指標です。主な指標としては、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標があります。

指標		算定結果 ( )内は前年度数値		早期健全化基準	比率の説明
健全化判断比率	実質赤字比率	— (—)	一般会計は黒字であったため、数値は表記されませんでした。	12.50%	一般会計の赤字額の程度を市の財政規模と比較して指標化し、財政運営の健康度を示す比率です。
	連結実質赤字比率	— (—)	全ての会計において黒字であったため、数値は表記されませんでした。	17.50%	一般会計、特別会計および公営企業会計の赤字額や黒字額を合算して、市全体の赤字の程度を指標化し、財政運営の健康度を示す比率です。
	実質公債費比率	7.7% (7.5%)	標準財政規模に対する負債返済の割合が7.7％となり、前年度から0.2ポイント増加しました。	25.0%	一般会計の借入金の返済額と公営企業会計や一部事務組合の借入金の返済金のうち、一般会計から支出されたと認められる額の合計額を市の財政規模と比較して指標化し、資金繰りの安全度を示す比率です。
	将来負担比率	0.2% (—)	標準財政規模に対する将来負担額の割合が0.2％算出されました。	350.0%	将来負担すべき額から市の貯金などを差し引いた額を、市の財政規模と比較して指標化し、今後の財政を圧迫する可能性を示す比率です。

実質公債費比率は、一般会計における元利償還金の額が増加したこと等により前年度に比べ0.2ポイント増加しました。
将来負担比率は、前年度に比べ、基金などの充当可能財源が減少したため、0.2％算出されました。
各指標とも早期健全化基準を大きく下回っているため、健全な財政状態が維持されていることが判断できます。

特別会計の決算状況

令和7年度の特別会計の決算状況をお知らせします。

特別会計	収入済額	支出済額
国民健康保険特別会計	75億5,514万3千円	75億3,154万9千円
介護保険特別会計	73億2,802万5千円	71億6,591万2千円
後期高齢者医療特別会計	23億1,002万2千円	22億3,850万8千円
笛吹市境川観光交流センター特別会計	7,178万2千円	7,178万2千円
森林経営管理特別会計	2,588万2千円	1,531万3千円
恩賜県有財産保護財産区管理会（9特別会計合計）	8,264万3千円	349万8千円
特別会計合計	173億7,349万7千円	170億2,656万2千円

令和7年度実施事業

令和7年度にも多くの事業を実施しました。主な事業の内容について、一部を写真で紹介します。

御坂中学校校舎等改築事業

14億2,572万5千円

御坂中学校の新校舎が完成しました！

生徒の安全安心で快適な学校教育環境を確保するため、御坂中学校の新校舎の建設を進め、令和7年12月に新校舎が完成しました。生徒たちは、令和8年1月から新校舎での授業を開始しています。



いちのみやももの里温泉改築事業

5億2,930万4千円

なごみの湯改修事業

5億1,449万7千円

**いちのみやももの里温泉となごみの湯を
リニューアルしました！**

市営温泉いちのみやももの里温泉およびなごみの湯について、改築工事を実施し、なごみの湯は、令和7年10月1日に、いちのみやももの里温泉は、令和8年4月1日にリニューアルオープンしました。



児童発達支援センター設置支援事業

1億582万円

**児童発達支援センター
「療育センターなないろオオルリ」が
開設されました！**

これまで市内に設置されていなかった児童発達支援センターについて、民間事業者の開設支援を行い、令和8年4月、石和町市部に「療育センターなないろオオルリ」が開設されました。



AIデマンド交通事業

8,558万4千円

「のるーと笛吹」の本格運行を開始しました！

令和6年1月15日に実証運行を開始した「のるーと笛吹」について、令和7年度に本格運行を開始しました。令和7年度は、石和町、御坂町、八代町、春日居町および芦川町で運行し、令和8年度からは、一宮町、境川町を加え、市内全域で運行しています。



奨学金返還支援事業

2,711万円

**若者の定住を促進するため、
奨学金の返還を支援しています！**

奨学金を返還している若者の就労初期の金銭的負担を軽減することで、市への若者の定住を促進するため、市内に居住したうえで、県内で働いて奨学金を返還している方に対し、補助金を交付しています。令和7年度は、168人が交付対象となりました。

